



<http://www.rupinasu-inc.co.jp/>

★最新介護医療情報★

認知症予防：「ポリフェノール、効果」 健康科学大講師ら／山梨
(毎日新聞社 H31.6.13[木] 配信)

健康科学大(富士河口湖町)の田中将志講師(45)らの研究チームは、ポリフェノールの一種「**タキシフォリン**」が**認知症予防に役立つ可能性**があると発表した。マウスで実験し、治療や予防法開発につながることを期待できるという。成果は米学術誌のオンライン版に掲載された。

研究は、国立病院機構・京都医療センター、国立循環器病研究センターと共同で行った。田中講師によると、マウスにタキシフォリンを飲ませたところ、**認知症を引き起こすたんぱく質「アミロイドβ」**や、**脳の炎症の一因となる活性酸素などの脳内での生産が抑制された**という。

タキシフォリンは、**シベリアカラマツ**や**アザミ**、**タマネギ**、**ブドウ**などに含まれる。田中講師は「**タキシフォリンが脳内でダイナミックな変化を起こすことが分かった**。実験では認知症予防の効果が認められた。新しい薬品の開発などにつながることを期待したい」と話した。

ポケモンで睡眠娯楽化、2020年リリースへ
(共同通信社 H31.5.29[水] 配信)

人気ゲーム「ポケットモンスター」を手掛けるポケモン(東京)は29日、スマートフォン向けのゲームアプリ「**ポケモンスリープ**」を2020年中にリリースすると発表した。爆発的にヒットしたゲーム「**ポケモンGO(ゴー)**」は人々の移動を娯楽化したものだが、**今度は睡眠をテーマにする**。寝た時間や起きた時間、睡眠状況などを計測しゲームの内容に反映するという。詳細は後日発表する。

東京都内で開かれた事業戦略説明会で石原恒和(いしはら・つねかず)社長は「**ポケモンと一緒に気持ちよく寝て、朝起きることが楽しみになる**。睡眠をエンターテインメント化する」と期待を語った。

これに合わせて任天堂は、ゲームに付属する端末「**ポケモンGO(ゴー)プラス**」を発売する。**昼は「ポケモンGO」と連携してポケモンを持ち歩き、夜は枕元で睡眠時間を計測して結果をスマホに転送できる**という。

地域ルピナス講習会のお知らせ

第24回城東地域リハビリ勉強会
⇒在宅で関わる呼吸器疾患について

開催日：令和元年6月28日(金)
時間：午後6時30分～午後7時30分
場所：城東区民センター 中会議室
講師：ルピナス理学療法士 池田遼



第35回忠岡地域リハビリ勉強会

⇒歩行の重要性について～理学療法士の視点から～

開催日：令和元年7月26日(金)
時間：午後6時30分～午後7時30分
場所：忠岡町文化会館 3階会議室
講師：ルピナス理学療法士 瀧本将史

第65回東大阪地域リハビリ勉強会

⇒糖尿病に対しての理学療法アプローチ

開催日：令和元年8月22日(木)
時間：午後6時00分～午後7時00分
場所：東大阪市立東体育館 第三研修室
講師：ルピナス理学療法士 白石太郎

